

## 政策・施策・事業整理票

高等教育局

## 政策

政策目標	4 個性が輝く高等教育の振興
概要	「知識基盤社会」において、我が国が活力ある発展を続けていくために、高等教育を時代のけん引役として社会の負託に十分応えるものへと変革する一方、社会の側がこれを積極的に支援するという双方向の関係を構築する。



## 施策

※令和3年度事前分析表より転記

施策の概要及び達成目標のどこを達成しようとしているのか分かるよう、該当部分を下線・太字で表記する。

達成目標のうち、当該事業が具体的にどの達成目標にあたるのか分かるよう、該当部分を灰色に塗りつぶす。

施策目標	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上
施策の概要	大学等の教育研究を支える基盤を強化しつつ、 <b>特色ある発展に向けた取組などを支援</b> することや、事前・事後の評価の適切な役割分担と協調を確保すること等により、 <b>大学等の国際化や教育研究の質の向上・保証</b> を推進する。
達成目標 1	大学の学士課程を中心として、 <b>教育内容・方法等の改善・充実が図られる。</b> また、 <b>各大学が、単独で又は連携して、その個性・特色を踏まえた人材育成機能を強化</b> する。
達成目標 2	国公立大学を通じた競争的環境の下で、明確な人材養成目的に基づき、個々の専門分野の枠を超えた組織的な指導体制で展開される体系性・一貫性のある教育に基づいた大学院教育を確立する。
達成目標 3	大学の国際競争力を強化し、国際的に活躍できる人材を育成する。
達成目標 4	事前・事後の評価の適切な役割分担に基づき、各大学の継続的な教育研究の質の向上を図る。 【新経済・財政再生計画改革工程表2020関連：文教・科学技術分野①少子化の進展を踏まえた予算の効率化と教育の質の向上】
達成目標 5	国立大学が確かなコスト意識と戦略的な資源配分を前提として経営的視点で大学経営を行うことで経営力を強化する。 【新経済・財政再生計画改革工程表2020等に挙げられた取組に関連する達成目標】



## 事業

※令和4年度レビューシートより転記

施策の達成目標と当該事業の目的・事業概要の関連を整理し、また当該事業の成果と上位施策との関係を明確にする。

当該事業の目的・概要・アウトカム・アウトプットのうち、どこが特に関連しているか分かるよう、該当部分を下線・太字で表記する。

事業名	持続的な産学共同人材育成システム構築事業
事業の目的	<b>実践的な教育を支える実務家教員を産学共同で育成・活用するシステムを構築し、実務家教員の質・量の充実を図る。</b>
事業概要	大学等による以下の取組を支援する。【補助率：定額補助】 ○社会人の学び直しを含め、 <b>実践的な産学共同教育の実施に不可欠な実務家教員を育成するためのプログラムを開発・実施</b> する。 また、この研修プログラムを標準化し、全国に展開する。さらに、 <b>研修プログラム修了者を実務家教員候補者として、マッチングを支援するウェブサイト</b> を構築・運営する（令和元年度～令和5年度）。

アウトカム	①	定量的な 成果目標	産学が共同で人材育成・活用するシステムの構築
		成果指標	人材エージェントにおける実務家教員候補者の求人検案件数
	②	定量的な 成果目標	実践的な教育を行うことができる質の高い実務家教員の育成
		成果指標	人材エージェントに登録した実務家教員候補者数
	③	定量的な 成果目標	社会の要請に対応した産学共同人材育成システムの構築
		成果指標	人材エージェント登録者の実務家教員としてのマッチング数
アウトプット		(1)	事業における実施大学数及び連携企業数
		(2)	プログラム修了者数
本事業の成果と上位施策との関係	本事業では、産学連携による実践的な教育を支える実務家教員の育成を推進することにより、企業等と連携した授業科目の開設を推進し、大学等における特色ある人材育成機能の強化に寄与している。		